

いす組(1歳児)

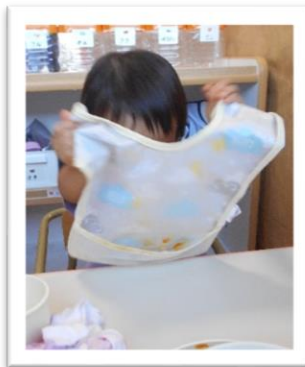
令和4年9月
子生和保育園

～自分でできるよ!～

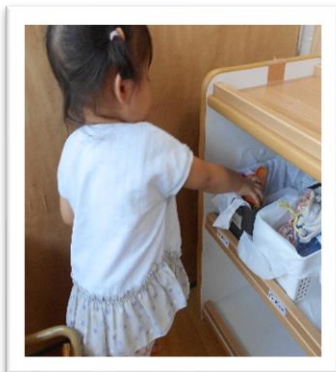
春から、食後の片付けを子ども達に知らせたり、自分でやろうとした時には、見守ったりしながら過ごしてきました。上手い出来ない時には、保育士に助けを求めたり、自ら試行錯誤したりするうちに、子ども達が自分でできることが増え、身の回りのことを“自分でしよう”という気持ちも高まってきたように感じます。



手・口を拭く



エプロンをとる



エプロン・おしぼりを
自分のカゴに片付ける



イスをしまう

★こんな姿もありました。



あ、ごはんがおちてる
(こぼしたお米を
自分で拾う)



ぼくがつけてあげる!
(困っている友達に
エプロンをつける)

子ども達が「自分でする」「一人でしたい」と主張した時、時間にゆとりがなかったり、実際にやってみると、思うようにいかないこともあったり、出来るか心配で、大人が先回りして手助けをしてしまいがちですが、子ども達は、励ましや具体的な助言によって試行錯誤を続けます。この姿こそが、この時期の“自立”へとつながります。

子どもの力を信じて「やりたい」という思いに共感し、温かく長い目で見守ることを大切にしています。